

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: <http://www.konbukuroike.com>

2020年2月

第70号

主な予定

柏ネイチャークラ フト展 2020

2月8日(土)～

2月16日(日)

於：あけぼの山農業公
園

保全活動報告会

3月15日(日)

9:00～12:00

於：東大柏キャンパス
環境棟5階

通常総会

4月26日(日)

14:00～16:00

於：管理棟前

地金堀の名称について

橋本谷 弘司

1. はじめに

こんぶくろ池北部湿地の水路(小川)を「地金堀」と呼んでいますが、こんぶくろ池に20年来かかわって来られた当会員の方から「地金堀」という名称には違和感を覚えるとの話がありました。

「大堀川河川総合診断報告書」(千葉県水質保全研究所、昭和56年3月発行、4頁)には、「地金堀」は“こんぶくろ池”を源とし、根戸と松崎の二つの新田の境目で大堀川と合流する約4.9kmの水路である。

その構造は、上流の約1.2kmは土の護岸、田のわきの用水路状で川幅0.5～2mであるが、そこから下流の大堀川本流と合流点までの約3.7kmはコンクリート護岸。全体に床うちされたコンクリート底。川幅5～6m。地金堀都市下水路として昭和49年から53年にかけて整備されたと記載されていますが、こんぶくろ池北部湿地を流れる水路を「地金堀」と明確に述べているわけではありません。

そのことから「地金堀」の名称はどこからきているのかについて調べて見ました。

2. 文献に書かれている地金堀

(1) 徳川幕府の手賀沼開田の初期は、手賀沼の水が松ヶ崎村台地下(現柏市)まで浸し、地金堀は松ヶ崎村の東側を南下し沼に入り、篠籠田落し(現在の大堀川)は松ヶ崎村と篠籠田村の間を東進し、沼に入っていた。(「手賀沼の今昔」 星野七郎 著 昭和61年11月17日刊 118頁)

(2) 昭和55年5月に日本住宅公団発行の「北柏地区開発概要」によれば、北柏地区開発の事業費は約125億円、地金堀都市下水路は23億円を要したと記載されています。

3. 現場で表示されている地金堀

(1) 地金堀樋管^{ひかん}

地金堀と大堀川の合流点に地金堀樋管があります。

「樋管」とは、より大きな川に合流する場合、合流する川の水位が洪水などで高くなった時に、その水が逆流しないよう設けられた施設のことです。



地金堀樋管

(2) 「ぢがね橋」バス停留場

ロジポート北柏（昔のアサヒビール飲料製造工場の跡地に建設された）の近辺の旧水戸街道にある東武バスの停留場です。

『続柏のむかし』（昭和52年3月東京印刷館発行、151頁）に『こんぶくろ池から出た水は、流山十太夫新田あたりのしぼり水と一緒にあって、花野井・宿連寺・根戸と若柴・松ヶ崎の間を流れ、呼塚田圃では大堀川と平行して、常磐線の下を「じがね橋」とか「じがね」といって流れて、根戸下側で沼に入った。』

また、「柏の民俗一考察篇」（柏市教育委員会編、平成3年3月発行）170頁には「生活道路を渡る橋にジガネ橋があり、御影石3枚で架橋されている。古くはこのジガネ橋から手賀沼へ抜け、沼沿いに我孫子へ至る頼朝道路があったという。」と記載されています。



ぢがね橋（旧水戸街道にある東武バスの停留場）

(3) 常磐線の「地金堀架道橋・地金堀ガード」

常磐線の架道橋（道路の上をまたぐように架ける橋のこと。）の銘板には「地金堀架道橋、しゅん功 昭和46年3月25日」等記載されています。

なお、常磐緩行線の運行開始は昭和46年4月20日です。



常磐線の架道橋



常磐緩行線の銘板



地金堀ガードでのトラブル時の連絡看板

4. 市役所での名称

地金堀は、柏の葉1号調整池から大堀川との合流地点までを「大堀川左岸第2号雨水幹線」と命名されています。また、柏の葉1号調整池から下流側の何本かの水路には枝番で整理されています。

なお、こんぶくろ池北部湿地の水路（小川）には名称が付いていません。

5. まとめ

大昔、こんぶくろ池からの湧水は、土の弱いところを削って小川となり手賀沼へ注いでいたと思います。

こんぶくろ北部湿地を流れる水路（小川）には、特に名称もなく、また、必要もなかったのでしょう。

しかし、位置を表現するのに名称があった方が分かりやすく、下流側で呼ばれていた「地金堀」という名称を便宜上使ったのではないかと思います。

この文書をまとめるにあたり、大堀川の水辺をきれいにする会の設立10周年記念誌「よみがえれ 大堀川」（2007年4月）を参考にさせていただきました。

こんぶくろ池句会・歌会について

松田 和生

昨秋のイベントではチャレンジ精神あふれる方々から、魅力的な俳句や短歌が寄せられ、前方に明るい灯を見た思いがしました。

その後熱心な会員の方々から、「歌会をやろうじゃないか」という提案がなされる一方、ある会員の方からは「何かきっかけがないと作らないので、そういうきっかけとなる取り組みが欲しい」との話がありました。そこで、次の通り「こんぶくろ池句会・歌会（案）」を考えてみました。

当面これにより進めたいと思いますので気軽に参加して頂けたら幸いです。

1. 目的

日本古来の俳句短歌などの伝統文芸に親しみ楽しむ間に NPO 会員相互の親睦を深め団結の強化と NPO の広報に資する。

2. 実施要領

- (1) 参加は自由で、NPO 会員はもとより、来園した一般市民も可とする。
また、投稿作品は作者オリジナルのものであること。
- (2) 季節ごとに課題を設けるも、自由題も可とする。
春：3、4、5月 夏：6、7、8月 秋：9、10、11月
冬：12、1、2月
- (3) 作品は事務所前に置かれた投稿箱へ入れるか、もしくは直接世話人へ手渡しする。投稿は投稿箱に準備した用紙を使用する。
- (4) 季節ごとに作品をまとめ鑑賞会（当該季節の最終第三日曜日）を開く。
- (5) 作品はこんぶくろ池通信や、事務所前掲示板に掲載する等広報に努める。

3. 句題・歌題：「こんぶくろ池自然の森の各季節の情景を詠む」または自由

4. 締の日：各月第3土曜日の朝

5. 世話人：松田和生、宗像清子、他有志

2月理事会

2020年2月8日（土） 13:00～16:30

出席理事：岡本、上田、北田、中川、藤原、萩原

第1部（アジア航測細川氏出席）13:00～14:30

今後のこんぶくろ池公園管理方針（案）について（アジア航測細川氏）

（管理方針（案）の説明と意見交換）

今後細川氏が柏市公園緑政課、アドバイザー、NPOの意見もヒアリングしながら纏めていく。

第2部（理事会メンバーのみ） 14:30～16:30

審議検討・確認事項

1. 2019年度活動報告会(3/15)の準備について

例年通り、NPOとしては調査活動（上田）・ズミプロジェクト（萩原）が報告すべき内容を取りまとめ、萩原より東大寺田先生へ送付（送付期限3/6）

2. 2020年度「管理当番年間計画表」の作成について

チーフ/サブチーフを確認。2019年度新会員の意思確認・チーム編成と計画表の作成（中川）

3. 2019年度実績報告書の作成について

3月から5月にかけて「こんぶくろ池公園報告書（柏市公園緑政課）」、「事業活動報告（総会資料）」、「法人市民税減免申請書（柏市市民税課）」、「法人県民税減免申請書（県税事務所）」「事業報告書（県NPO課）」を手分けして作成。

4. 柏市民活動フェスタ2020協賛イベントへの応募について

協賛イベント実施時期中（4/6～5/9）の4/19に自然観察会を開催する方向で検討（藤原）（2/14提出締切）

5. 今年度末までの支出可能額

改めて確認の上、可能な限り早期に各理事に連絡（岡本）。各理事は2/16までに購入希望物品をリストアップし、その価格を確認する。同日、購入物品の選定を行う。

6. 2～3月活動計画について

調査班・里山班・ズミ班のスケジュールを擦り合わせ配布（中川）

7. こんぶくろ湿地の水路名称について

橋本谷さんの調査により、こんぶくろ池北部湿地の水路には名称

がついていないことが確認できた。会員より「小川」等に名称変更すべきとの意見もあったが、これまで通称「地金堀」で過去の資料や関係者間でも意思疎通がされていることから、早急に新たな名称をつけることはせず、便宜上「地金堀」を現状通り使用することとする。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。



12月21日に北部湿地近くで羽を拾いました。管理棟の鳥の羽図鑑で調べたところ、猛禽類の羽の模様に近く、ちょうどその頃オオタカの鳴き声や目撃例もあったので、「オオタカの風切羽」としてFacebookに投稿したところ、閲覧者の方から、『羽の表面を指先で触ると、ビロードみたいな手触りでしょう？言ってみると「起毛処理」がされているんです。羽ばたく時に、タカなんかはバサバサバサと音がするんだけど、フクロウの羽のこのビロードの手触りは、羽どうしがこすれる音が出るのを防いで、音もなく飛ぶための装置の一つとされているんです。暗闇では、羽音がすると、ネズミなどの獲物に気づかれちゃうんでしょうね。』というコメントをいただきました。

その後アジア航測の細川さんにも同定していただきましたが、フクロウではないかとのことでした。

確かにあらためて羽図鑑を見比べるとフクロウの羽の方が模様が近いですし、ビロードのような手触り感も皆で確認しました。

昔はこんぶくろや千葉大などでもフクロウの目撃例はありましたが、最近は見かけることも声を聞くこともなかったので、森の中で確認できればうれしいですね。（萩原）

新入会員紹介 酒井 英敏さん



街中に残された自然に関心があり、こんぶくろ池公園の自然環境の保全・保護に取り組んでいきたいと思えます。

とりあえず “動いてみます！”

動いた後に、方向性がより見えることを願い……。

趣味：読書